

National OW-40QB・OW-40QBE・OW-40QBE K ナショナル道

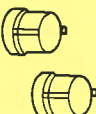
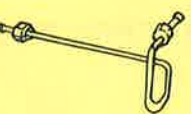
1

据付け工事

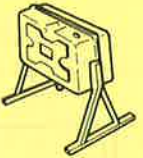
据付け場所は、水道配管工事・電気配線工事などの付帯工事が容易にできる場所にしてください。
又、火災予防上所定の距離がじゅうぶんに取れるスペースが必要です。

1. 開こん

●付属部品(本体に同こんしています)

燃料フィルターセット 1個	アース棒 1個	リモコン工事用 ビスセット	プラグ 1個	キャップ 2個	ふろリモコン 1個	化粧カバー 1個	左配管用送油パイプ 1個	排気トップ (OW-40QB専用) 1個	煙突接続フランジ (OW-40QBE・40QBEK専用) 1個
									
								(取付ネジ付)	(取付ネジ付)

●別販部品(事業部取扱い品)

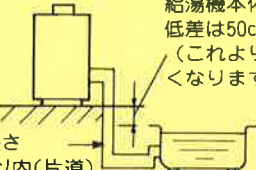
品番	OT-903	OB-PC6K20A	OB-PC3K3
部品名	油タンク	リモコンケーブル	リモコンケーブル
取扱い事業部	石油機器事業部	暖房システム事業部	暖房システム事業部
外観			
数量	1	1	1
備考	タンク容量90L 他に460Lあり	6芯コード(20m) 他に5.10.15mあり リモコン工事用	3芯コード(3m) 他に5.10mあり ふろリモコン工事用

●システム部材センター取扱い品

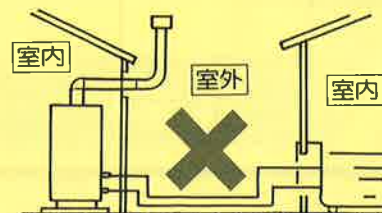
AD-3222B6	水道用減圧弁	1	
AD-3220A2	逃し弁(安全弁)	1	給水用
AD-3220B6	逃し弁(安全弁)	1	給湯用補助逃し弁付
AD-3820JS	自動空気抜き弁	1	他に15A用あり
AD-T2012.O	φ120排気筒セット	1	煙突排気式用
AD-T2005.O	φ105排気筒セット	1	
AD-2012HL	φ120強制排気トップ	1	強制排気式用・他に強制排気筒セットあり
AD-2005HL	φ105強制排気トップ	1	
AD-3754A,3754B	風呂循環アダプター	1	無極性,3754A(SFタイプ),3754B(LFタイプ)
AD-3753A,3753B	風呂循環アダプター	1	有極性,3753A(SFタイプ),3753B(LFタイプ)

2. 設置及び据付け

- 給湯機本体は絶対に浴室内に設置しないでください。(燃焼不良や感電事故の原因となります。)
- 給湯機本体と浴槽の設置関係が次の条件を満足しない場所には設置できません。

給湯機本体が浴槽より高い場合	給湯機本体と浴槽が同一床面
 給湯機本体と浴槽の上面との高低差は50cm以内にしてください。 (これより高くなると循環しなくなります。)	 配管長さ全長5m以内(片道)

- 配管長さは、5m以内の場合でもできるだけ短かくできるように設定してください。
(長くなりますと能力低下や凍結を起こしやすくなります。)
- 給湯機本体が屋内設置、ふろ配管が屋外設置とならないように設置してください。
(給湯機本体が暖房された室内でふろ配管が屋外の場合は、ふろ配管が凍結するおそれがあります。)



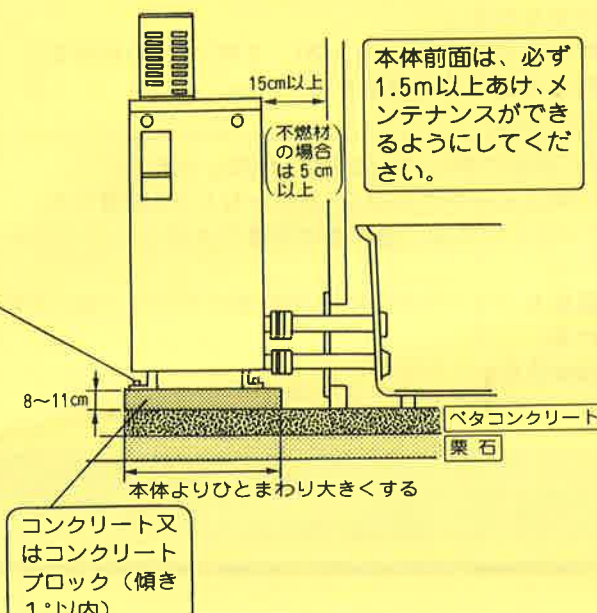
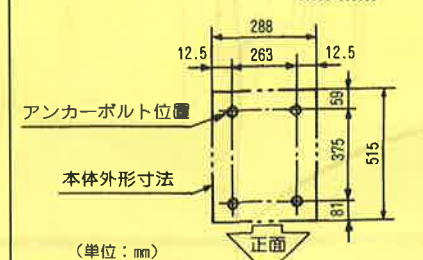
燃焼空気取入口

屋内に設置される場合は、下表の開口面積の取入れ口を上部(換気口)と下部(給気口)にそれぞれ1カ所設けてください。

有効開口面積	鋼製ガラリ
600cm ² ×2カ所	1200cm ² ×2カ所

アンカーボルト

- 本体をアンカーボルトで水平に固定してください。
- アンカーボルトはボルト高さ2cm以下にしてください。



2

水道配管

- 排水口は左右に設けてい
- 加圧シスターンを使用す

給湯配管

逃し弁(安全弁)
(熱交換器の破損のため、この逃し弁(補助逃し弁)を使用してく

ドレン配管

ホッパー
(AD-3100A)
万一、オーバーフロー管が凍結しても、スムーズにお湯が排出されるよう必ず設けてください。

ユニオン

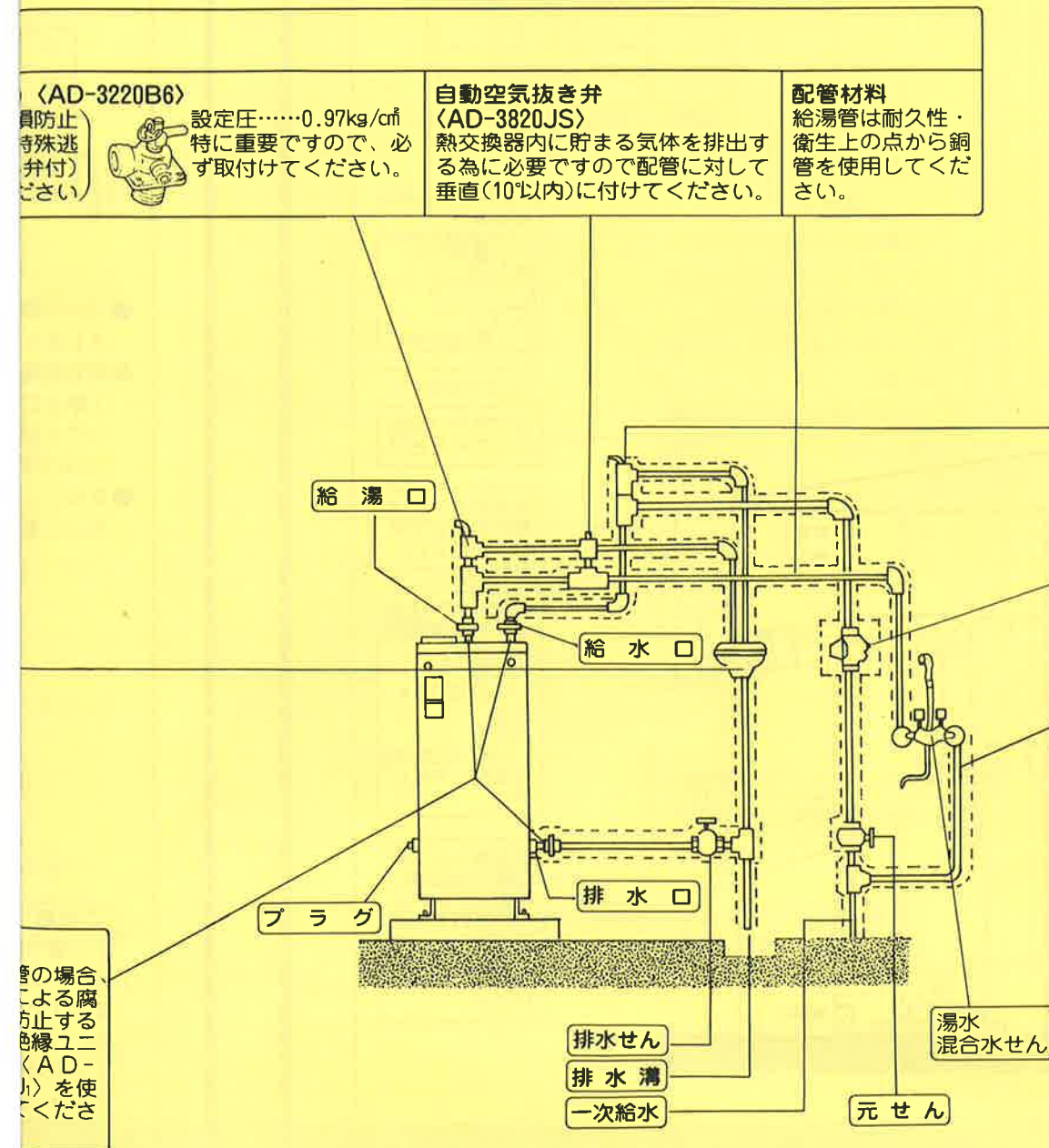
- 本体との配管接続口には、ユニオンを必ず設けてください。

●銅配管電食防止のためユニオン3020L用いてい

配管工事

配管工事は水道局の指定工事店に依頼し、所轄の水道局の規定に従ってください。

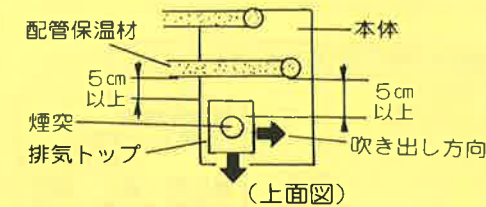
ますので、ご使用にならない排水口はプラグ(付属部品)により必ず密閉してください。
る場合は「サービスマニュアル」を参照してください。



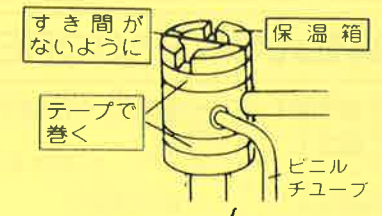
保温工事

…は保温工事です。給湯・給水配管だけでなく
逃し弁、(安全弁)、排水管も保温してください。

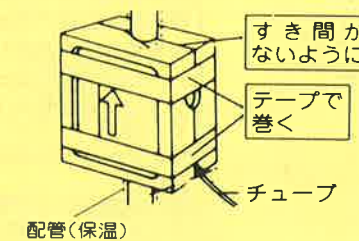
1. 煙突(排気トップ)と配管保温材の距離
 - 煙突(排気トップ)と保温材の距離が
近いと保温材が溶ける場合がありま
す。必ず5cm以上の距離を確保して
ください。
 - 排気トップの吹き出し方向には配管
の引廻しを行なわないでください。



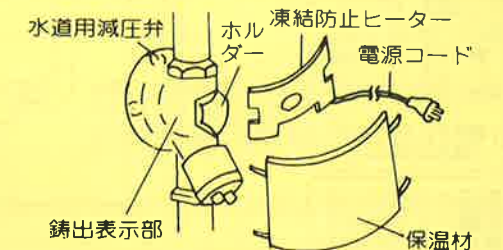
3. 逃し弁の保温工事



2. 減圧弁の保温工事
保温箱(発泡スチロール製)をすて
ないで、必ず取り付けてください。



4. 水道用減圧弁の加温工事 減圧弁凍結防止ヒーター (AD-4229)



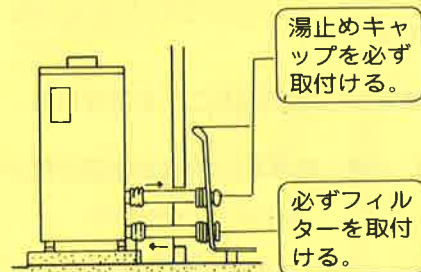
3

ふろ配管工事

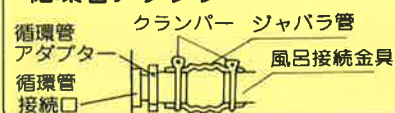
- 循環管接続口は左右に設けていますので、ご使用にならない循環管接続口はキャップ(付属部品)により必ず密閉してください。
- 循環管接続口の上は浴槽水出口、下は戻り口ですので、逆接続しないでください。(逆接続すると正常運転しません。)
- 下部循環口には、配管や機器の保護のため、必ずフィルターを取付けてください。
- 風呂接続金具、風呂接続アダプターは、システム部材センター取扱品を用いてください。
- 循環管接続口には、灯油や切削油等の油脂類は付着しないようご注意ください。(付着した場合は、すぐにきれいな布で拭きとってください。)

1. 近接設置

- 下部循環口には必ずフィルターを取付けてください。

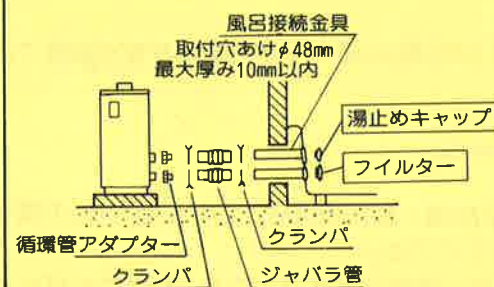


循環管アダプター



近接設置工事部材

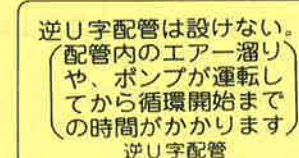
部材セット	AD-3760A	2口風呂標準セット 300mm・他に500mmあり
-------	----------	------------------------------



浴槽循環口とのピッチが合わない場合は、Wジョイント(AD-3700FJ)をお使いください。

2. 遠隔設置(5m以下)

- 鋼管は絶対使用しないでください。(循環ポンプがマグネット式のため、故障します。)
- 配管は銅またはSUSの径20A(3/4B)を用いてください。(配管径が細いと配管抵抗が増加し、能力が低下します。)
- 配管は保温および凍結防止のため、必ず十分に保温してください。
- ゴムホース以外の場合は本体との接続部に必ずユニオンを設けてください。
- 配管はU字配管とすれば循環するまでの時間が短くなります。(逆U字配管にはしないでください。)



配管の水抜き

凍結防止のため、排水せんを設けて水抜きができるようにしてください。

配管全長

配管全長は片道5m 6曲り以内で施工する。(長くなると能力低下や、凍結を起こしやすくなります。)

配管立上がり

立上り配管はできるだけ浴槽および、本体に近い個所で立上げる。

配管接続時の注意

□本体の接続口の一部に樹脂製品を使用していますので特に次のことにご注意ください。

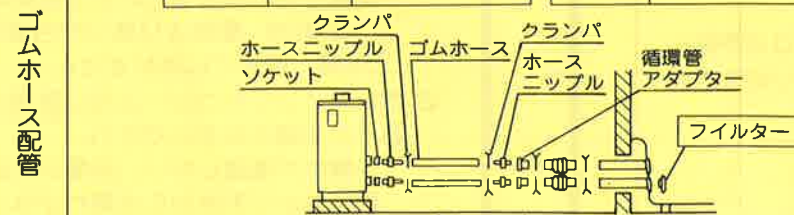
- ねじにはシールトテープをご使用ください。(シールトテープ以外は使用しないでください)
- ねじはJIS規格品(管用テーパねじ)をご使用ください。
- 配管材は、ラード、切削油、その他油脂類が付着したものは、きれいな布で油をふき取り水洗してください。
- ねじの締付けは400kg/cm(20cmパイプレンチで手元のトルク20kgの時)以下をお願いします。
- 循環管接続口に配管したままでロー付けはしないでください。(必ずユニオンを用い配管をはずした状態で本体接続口に熱がかからないようにしてください。)(必ず上記、注意点をお守りください。間違った施工を行ないますと製品をいため、破損、水漏れの原因となります。)



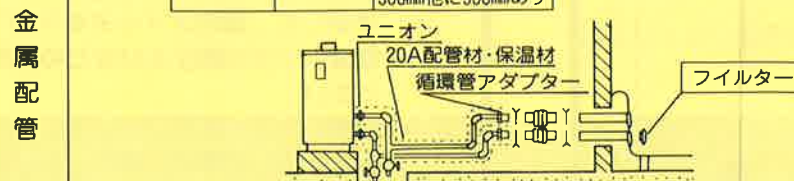
遠隔設置工事部材

2口接続口の場合 (風呂接続金具を用いる場合)

部材セット	AD-3751	風呂延長配管セット	AD-3750A	2口風呂標準セット 300mm他に500mmあり
-------	---------	-----------	----------	-----------------------------

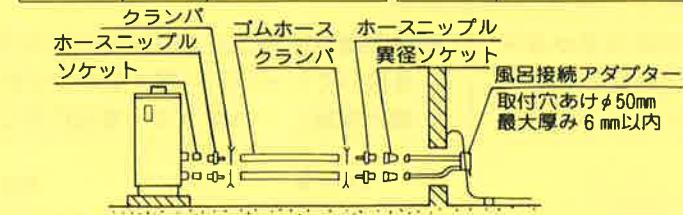


部材セット	AD-3750A	2口風呂標準セット 300mm他に500mmあり
-------	----------	-----------------------------

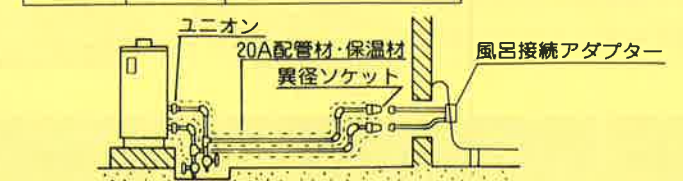


1口接続口の場合 (風呂接続アダプターを用いる場合)

部材セット	AD-3751	風呂延長配管セット	AD-3752A	1口風呂標準セット 他に1口風呂Lセットあり
-------	---------	-----------	----------	---------------------------



部材セット	AD-3752A	1口風呂標準セット 他に1口風呂Lセットあり
-------	----------	---------------------------



3. ふろ配管の凍結防止

- 遠隔設置による接続と防止工事に注意していただく使用方法をしていただく必要があるため、取扱説明書分にご説明ください。
- 万一凍結した場合、金属があるため十分に注意(ゴムホース接続は凍結少なくなります。)
- 冷え込みの厳しい地域での使用、配管の水抜き等してください。

4. その他

- 青水が発生しやすい地域をさけ、ゴムホースを用い。

●油タンクの据付け場所は、下記の点に注意して選定してください。

- ①風通しのよいところで直射日光などの影響が少ない位置。
- ②直接雨水がかからない位置。落雪の影響のない位置
- ③屋内に設置する場合は、壁・柱・天井は不燃材にする。
- ④落雷の影響のない位置。

送油配管(燃料フィルター)

- 付属の左配管用送油パイプに組み替えると、燃料フィルターを左側に取付けられます。

(1)本体右側からの配管

- ①送油アダプターに付属の燃料フィルターを接続してください。

(シールテープを使用して、油漏れのないように確実に締付けてください。)

(2)本体左側からの配管

- 右側配管仕様となっていますので、接続部の組み替えが必要です。

- ①現在ついている送油管を取りはずしてください。

(電磁ポンプ側のフレアナットは、ニップルがゆるまないようスパナで保持して取りはずしてください。)

- ②アダプター・支持金具の取付けビス(2本)をゆるめ取りはずしてください。

- ③左側送油口のゴムキャップをはずして、右側送油口に取付けてください。

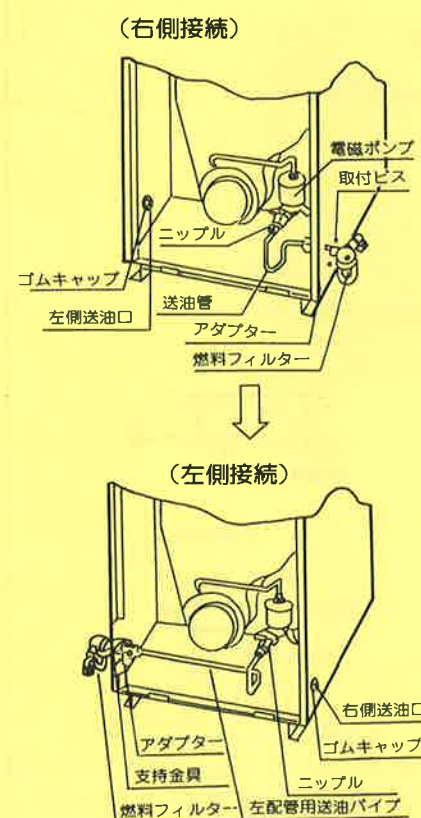
- ④左側送油口に、アダプター・支持金具を取付けビス(2本)で取付けてください。

- ⑤付属の左配管用送油パイプを、両端のフレアナットにてニップル及びアダプターに締付け接続してください。

- ⑥アダプターに付属の燃料フィルターを接続してください。

(シールテープを使用して、油漏れのないように確実に締付けてください。)

- 配管接続部の油漏れを必ず点検してください。



防火壁
本体と油タンクの間隔2m未満のとき必要。

油タンクの周囲1m以内に建物の開口部がないこと。
(500ℓ以上、1000ℓ未満の油タンク)

返油管接続口
プラグで締める。
(500ℓ以上、1000ℓ未満の油タンク。)

通気口
引火防止のためにステンレス製の金網キャップを取り付ける。

通気管
(500ℓ以上、1000ℓ未満の油タンク)
高さ：2m以上。
内径：20mm以上。

油タンク

燃料フィルター
配管工事終了後、油タンクに給油してから必ず燃料フィルターの空気抜きを行ってください。

防油壁
(500ℓ以上、1000ℓ未満の油タンク)
防油堤の容量(高さ)は油タンクの容量以上にしてください。

アンカーボルトで固定

不燃材
(コンクリート)基礎

見やすいところに危険物の品名・種別・最大量を記載した標識を取り付ける。
(500ℓ以上、1000ℓ未満の油タンク。)

送油配管

- 配管材料はφ8なまし銅管を使用してください。
- 配管の途中に空気だまりができないようにする。



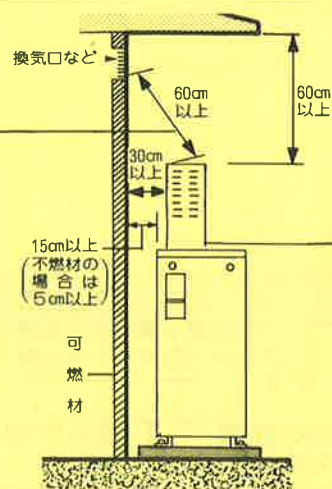
- 銅管のフレヤ出しは必ずフレヤ工具を用いて行なってください。
- 配管接続部の油漏れを必ず点検してください。

排気トップ式 OW-40QB

- 排気トップは付属の専用のものを使用してください。

排気トップの60cm以内に窓や換気口などの開口部がないようにしてください。

排気吹き出し方向が本体の前方向へ向くよう取付けてください。排気方向を変えると、配管の保温材が溶けたり、壁面の温度が上昇する場合がありますので、絶対に守ってください。



取付ねじで排気トップを本体の煙突接続口に固定してください。(取付ねじ: 手前1本 後方2本)

煙突排気式 OW-40QBE

- 煙突工事の前に必ず付属の煙突接続フランジを付属の取付ネジで本体の煙突接続口に固定してください。

支え線・支えわく・腕・金具などで固定してください。

隠ぺい空間を通過させる場合、煙突の接続は隠ぺい空間で行わないこと。煙突の点検修理ができるような点検口を設けてください。金属以外の不燃物で被覆する。

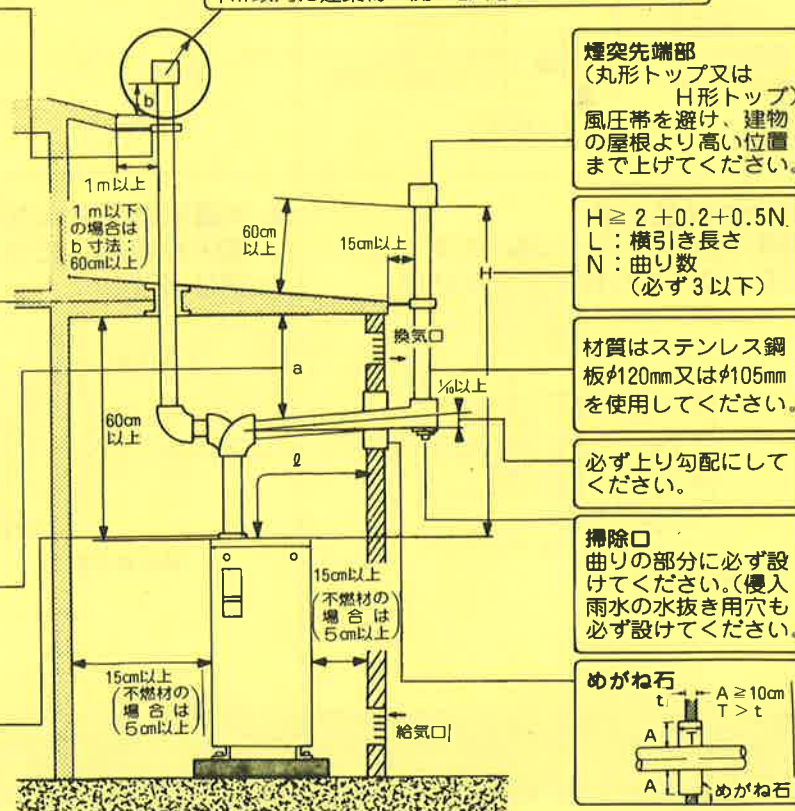
周囲を点検できる空間を設ける。断熱材。通気性のある空間。点検口 15cm以上。

(機器から180cm以内)の場合は45cm以上。

煙突と可燃材との距離、a寸法は本体から1.8m以内の部分は45cm以上、1.8mを超える部分は15cm以上としてください。

取付ネジで、排気筒を煙突接続フランジに固定してください。

1m以内に建築物の開口部(窓など)がないこと。



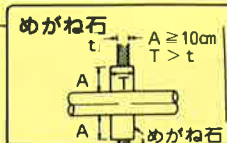
煙突先端部(丸形トップ又はH形トップ)風圧帯を避け、建物の屋根より高い位置まで上げてください。

$H \geq 2 + 0.2 + 0.5N$
L: 横引き長さ
N: 曲り数 (必ず3以下)

材質はステンレス鋼板φ120mm又はφ105mmを使用してください。

必ず上り勾配にしてください。

掃除口 曲りの部分に必ず設けてください。(侵入雨水の水抜き用穴も必ず設けてください。)



強制排気式 OW-40QBE、OW-40QBE K

- 煙突工事の前に必ず付属の煙突接続フランジを付属の取付ネジで本体の煙突接続口に固定してください。
- 排気筒の材質はステンレス鋼板で寸法φ120mm又はφ105mmを使用してください。
- 排気筒は長すぎたり曲りの数が多すぎたりすると燃焼不良の原因になりますので注意してください。

排気筒の延長限界

曲がり管(エルボ)	長さ(直管)
1	7 m
2	5 m
3	3 m

(排気トップの曲りは含まない)

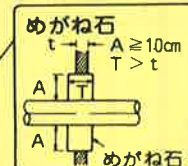
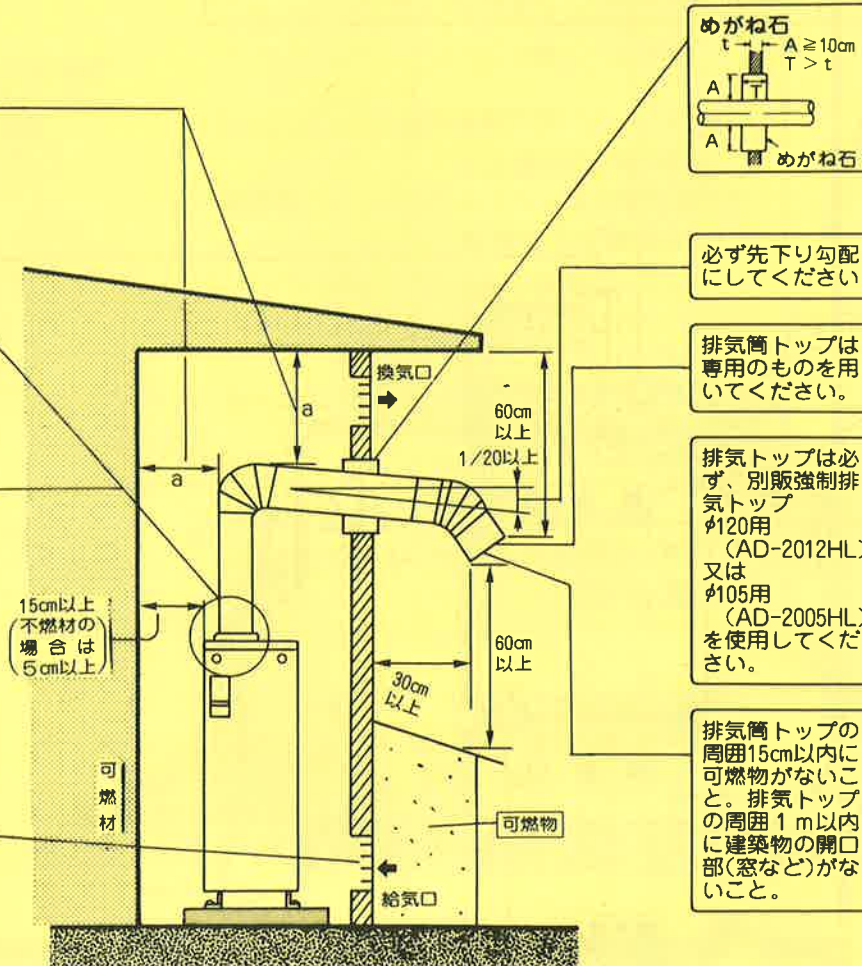
排気筒と可燃物との距離a寸法は本体の接続口から、1.8mの部分は、45cm以上、1.8mを超える部分は15cm以上としてください。

取付ネジで、排気筒を煙突接続フランジに固定してください。

排気筒の各部接続は付属のテープで必ずシールしてください。

屋内設置・ボイラ小屋設置の場合は、給気口・換気口共に有効面積 600 cm²にしてください。

給気口は排気が流入しない位置に設けてください。



必ず先下り勾配にしてください。

排気筒トップは専用のものを用いてください。

排気筒トップは必ず、別販強制排気トップφ120用(AD-2012HL)又はφ105用(AD-2005HL)を使用してください。

排気筒トップの周囲15cm以内に可燃物がないこと。排気筒の周囲1m以内に建築物の開口部(窓など)がないこと。

- 電源は単
- 50Hzと6
- 屋外専用
- リモコン

1. 接

地面(できるだけ)湿気た場所を選ぶ

- 万一の感
- スしてく
- 電気設備
- 工事士に
- つてくだ
- (法令で規
- さらに、
- ることを

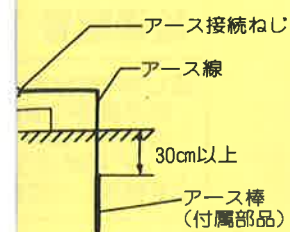
〔ご注意〕
ガス管や
のアース
器を入れ
路には接
(法令な
ます。

電気配線工事

適切な位置に電源コンセントがない場合は、電気配線を電力会社の指定工事店に依頼し、所定の配線をしてください。

相交流100Vを使用してください。電源電圧が高すぎたり、低すぎたりすると誤動作の原因になりますので90~110Vを確保してください。
0Hz地区とでは電磁ポンプの配線および空気調節板の設定位置が異なります。Hz表示を確かめてください。
コンセントは必ず雨水のかからない場所に設けてください。
ケーブルは電源コードと接触しないように配線してください。誤動作の原因になります。

地 アース) 工事



電防止のため、必ずアースしてください。
基準に基づき、必ず電気による第3種接地工事を行ってください。
定されています。
漏電しゃ断器を取り付けおすすめします。

水道管、電話や避雷針回路、又は漏電しゃ断した他の製品のアース回路しないください。
どで禁止されており)

2. メインリモコン工事

●製品本体に取り付けてあるメインリモコンをはずして屋内リモコンにする場合に行ってください。

メインリモコンの取付場所選定

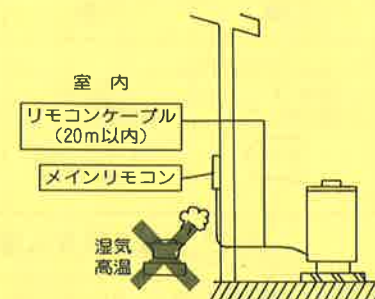
●メインリモコンの取付場所は需要家様とご相談のうえ、下記の点に注意して選定してください。

- ①防水構造でないので必ず屋内に取付ける。
- ②運転スイッチの操作が容易で、表示ランプが良く見える場所。
- ③配線工事が容易で、配線の長さが20m以内になる場所。
- ④高温(50℃以上)になる場所、湿気の多い場所には取付けない。
- ⑤幼児の手のとどかない場所。

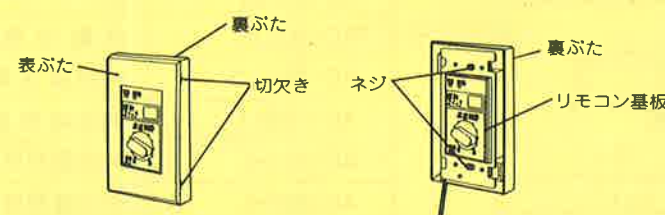
リモコンの取付け

- ①製品の前板を外す。
- ②メインリモコンの表ぶたを外す。
(右の図のように表ぶたと裏ぶたの間の切欠きにドライバーなどを差し込んで、かるく手前にひっぱる。)
(ツマミは、外れませんのでひっぱらないでください。)
- ③リモコン基板を外す。
(ネジ2本を外して、リモコン基板を裏ぶたから取り外す。)
- ④メインリモコンについているコードを取り外す。
(コードのコネクタをひっぱってプリント基板からコードを外す。)
(コードトメのネジを外す。)
- ⑤別販のリモコンケーブルをプリント基板に差し込む。
(ケーブルの3Pハウジング2ケの方をプリント基板の色指示にあわせて差し込んでください。)
- ⑥④ではずしたコードトメでリモコンケーブルを金具に固定する。
- ⑦裏ぶたを製品本体から取り外す。
(ネジ2本を外す。)
- ⑧裏ぶたを壁面に付属のネジ(4×20、2本)で取り付ける。
- ⑨リモコン基板を裏ぶたに固定する。
- ⑩表ぶたをはめ込む。

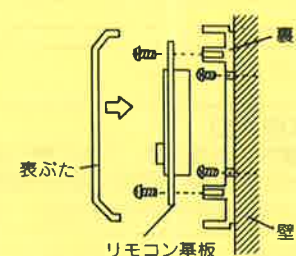
- ①~⑥までは「壁面に取り付ける場合」と同じ手順で行う。
- ⑦壁面に1コ用スイッチボックス(カバーなし)を設置する。
- ⑧スイッチボックスを基準に壁にほぼ同等の大きさ(55×100mm)の穴をあける。
- ⑨リモコン基板をスイッチボックスに付属のネジ(4×30、2本)で取り付ける。
- ⑩表ぶたをはめ込む。



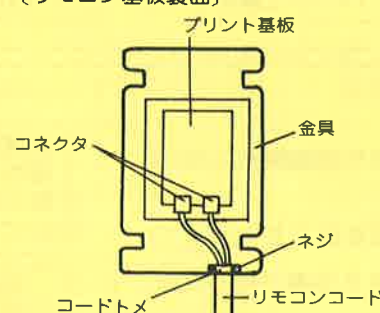
【メインリモコン】



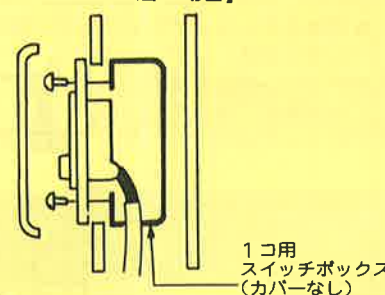
【壁面に取り付ける場合】



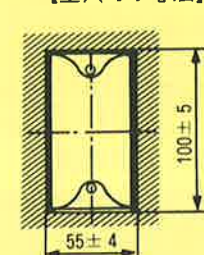
【リモコン基板裏面】



【壁面に埋め込む場合】

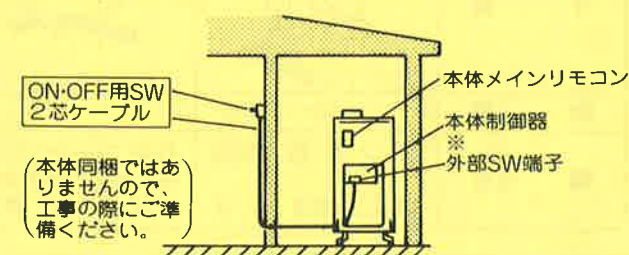


【壁穴あけ寸法】



簡易リモコン(電源のON、OFFのみ行う)の場合

- ①製品本体のメインリモコンはそのままにしておく。
(運転スイッチはOFFの状態にしておく。)
●本体メインリモコンの運転スイッチをONにしておく「ON・OFF用SW」を切っても運転が停止しませんので注意してください。
- ②本体制御器の外部SW端子に2芯ケーブルを接続する。
- ③屋内にON・OFF用SWを取付け、2芯ケーブルを接続する。
●製品が屋外に設置されている場合は、屋外用ケーブルを使用してください。



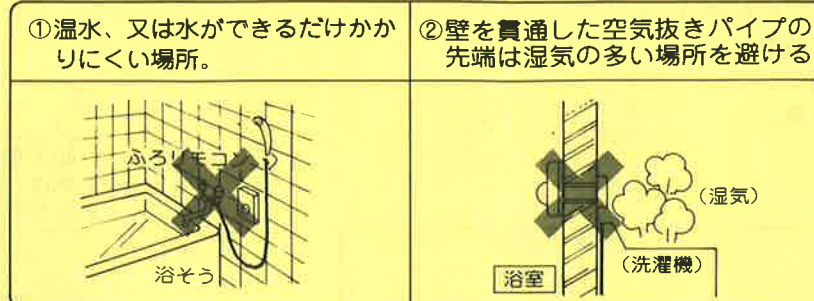
外部SW端子には100V電源を直接に接続しないでください。制御器が破損します。

3.ふろリモコン工事

- ふろリモコンは防湿構造になっていますから、パッキンの挿入、ねじ締めめときは、慎重に作業を行ってください。
(特に、ごみ・異物の混入、パッキンの位置づれにご注意ください。)
- 防湿のため、必ず空気抜きパイプを取付けてください。

ふろリモコンの取付場所選定

- 取付場所は需要家様とご相談のうえ、右記の点に注意してください。

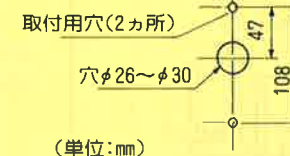


1.ふろリモコンの取付け

1. 壁取付穴の穴あけ

φ26～φ30の空気抜きパイプ用の貫通穴を壁に対して直角にあける。
 [注] ふろリモコンは裏面の両面テープで固定できますが、より確実に取付けるときは、同こんの木ネジ(2コ)で固定してください。
 (直接木ねじが使用できないときは、PYプラグ(松下電工製:PY-2001)を使用してください。(穴あけ寸法は壁取付寸法図を参照))

【壁取付寸法】

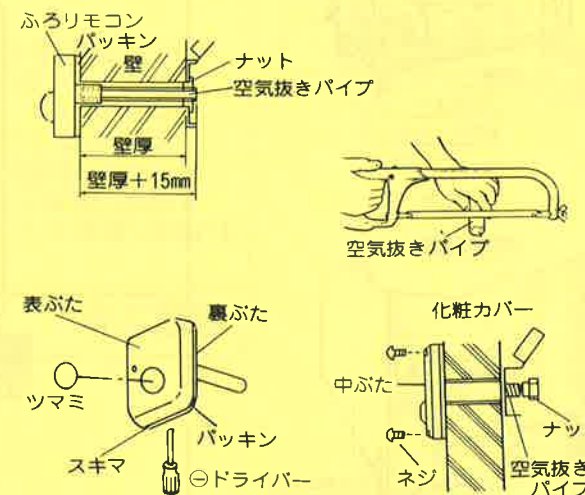


2. 空気抜きパイプの長た調節

壁厚が70～220mmの間では、空気抜きパイプを切断して取り付ける。
 (壁厚が220～335の場合
 別売の厚壁スリーブ〔品番:AD-3722-1〕を使用してください。)

3. ふろリモコンケースの取付け

- ①ツマミをひっぱって外す。
- ②ふろリモコンの表ぶたを外す。
(右の図のように表ぶた下部のスキマに⊖ドライバーなどを差し込んでかるくひねり、手前にひっぱる)
- ③パッキンの付く壁面を水気が残らないよう乾いた布などでふく。
- ④パッキン(接着剤付)に貼り付けている紙をはがし、ふろリモコンが傾かないよう注意して壁面に押し付け、固定する。
- ⑤ナットで空気抜きパイプに化粧カバーを取付け壁に固定する。
(指できつめに締め付けるだけで固定できます。)

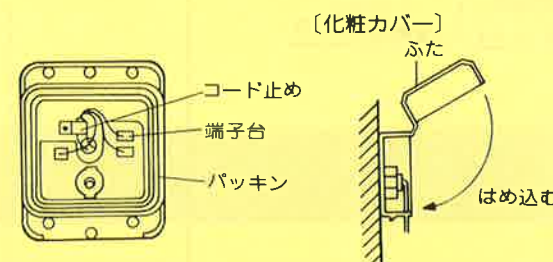


4. ふろリモコンの配線

- ①ふろリモコンの中ぶたを取りはずす。
(ネジ4本を外して、かるく手前にひっぱる)
- ②ナット部からリモコンケーブルを通す。
- ③圧着端子を端子台に固定する。
- ④リモコンケーブルをコード止めで固定する。
- ⑤化粧カバーのふたをはめ込む(閉じる)。

5. 配線が終った後のカバー取付け

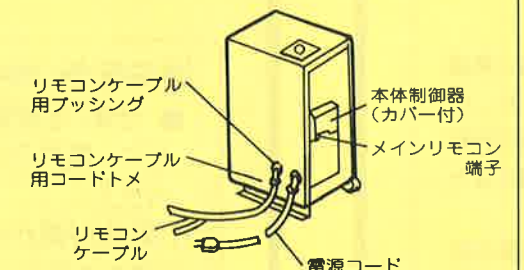
- ①ふろリモコンの中ぶたをねじ4本で取付ける。
- ②ふろリモコンの表ぶたを取付ける。
(位置ズレなきよう、かるく全体をおさえ付けるよう取付ける)
- ③ツマミの位置を合わせ差し込む。



4.機器本体との接続

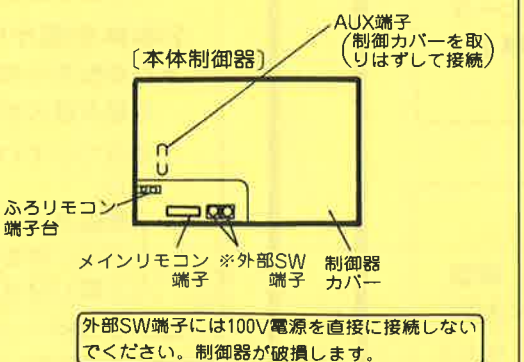
- リモコンケーブルは、点火トランスの高圧コードと、できるだけ遠ざけてください。
(接触したり、近接すると誤動作の原因になります。)

- ①本体左側面のコード穴にリモコンケーブルを通す。



- ②各リモコンケーブルを本体制御器の各端子に接続する。

- ・メインリモコンケーブルを端子に差し込む。
- ・ふろリモコンケーブルの圧着端子を端子台(3mmネジ)で固定する。
(テレコントローラ、HAとの接続の項参照。)



- ③付属のコードトメでケーブルを製品に固定する。

注意
 リモコンケーブルのあまり分は本体へ収納しないでください。

テレコ

テレコ

- デジタル「ON」必要機

(システム)

デジタル式
プッシュホン

- 給湯機を抜いて線と接

切断

コネ

リモコン、HAとの接続

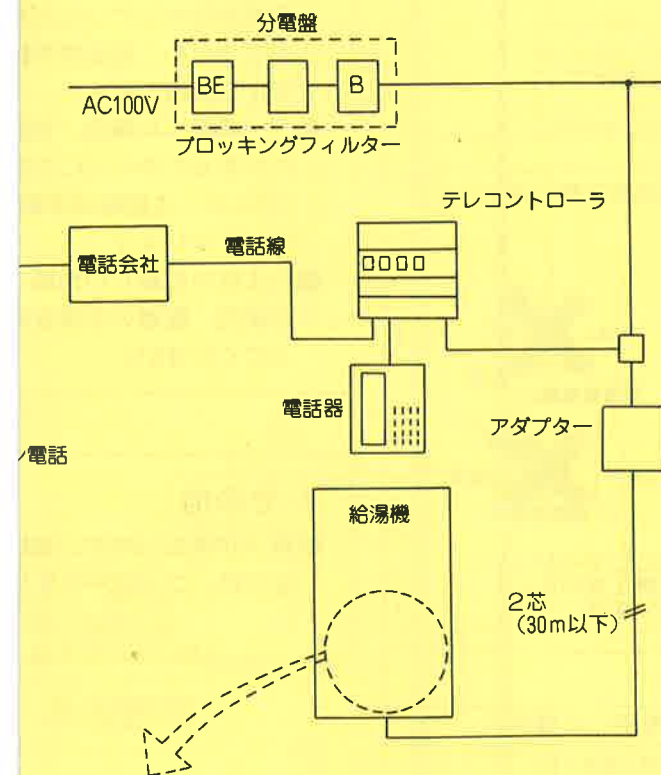
●施工は、テレコンローラ、HAの工事説明書に従って正しく行なってください。

リモコンとの接続

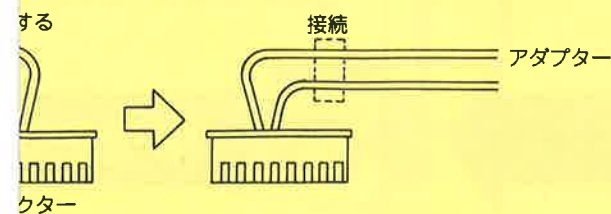
リモコン式プッシュホン電話器（発信器）により、給湯機の通電「ON」「OFF」のコントロールができます。

- 必要機器 ①テレコンローラ
②ブロッキングフィルター
③アダプター

（システム例）



本体のコントローラ内にAUX端子があり、そのコネクターでジャンパー線を途中で切断し、アダプターよりの2芯の線を接続し、コネクターを元に差し込んでください。

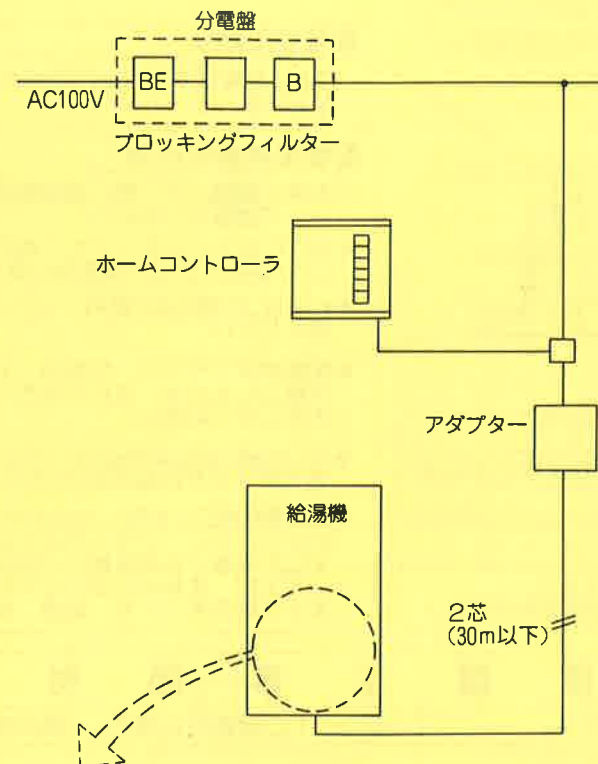


HAとの接続

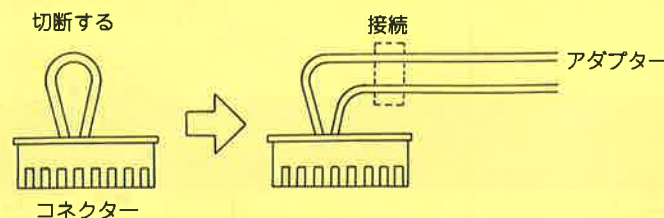
●ホームコントローラにより給湯機の通電「ON」「OFF」のコントロールができます。

- 必要機器 ①ホームコントローラ
②ブロッキングフィルター
③アダプター

（システム例）



●給湯機本体のコントローラ内にAUX端子があり、そのコネクターを抜いてジャンパー線を途中で切断し、アダプターよりの2芯の線を接続し、コネクターを元に差し込んでください。



- 据付けが完了したのち、「取扱説明書」の「据付け工事後の確認と試運転」の項目に従って必ず、チェックと試運転を行ってください。
- 需要家様への引渡しに際して、同梱してある「取扱説明書」をお渡しのうえ、「使用方法・日常の手入れ」について詳しく説明してください。
- 特に「油タンク内の灯油を切らさないようにしていただくこと」と「凍結予防のための使用方法」については念を押して需要家様をお願いをしてください。

運転準備

運転スイッチを入れる前に必ず下記の準備を行なってください。

- ①給油
油タンクに灯油（JIS1号灯油）を入れる。
- ②送油管の空気抜き
燃料フィルターの空気抜きせんをゆるめ、空気抜きをする。
- ③油漏れの確認
配管および本体から油漏れがないか確かめる。
- ④給水
給水配管の元栓を「開」にし、給湯蛇口の湯側から水が出ることを確かめる。
- ⑤浴槽への給水
浴槽の上循環口より水面が上になるように浴槽へ給水し、配管および浴槽から水漏れがないか確かめる。
- ⑥循環フィルターへの給水
フィルターキャップをはずし、水道水をやかんなどでA室に約600cc（牛乳ビン約3本分）入れる。
給水後、フィルターふたのツメにパッキンの切込位置を合わせて、元通り組込み、フィルターキャップを水漏れのないようにしっかり閉めてください。
- ⑦電源プラグの確認
専用コンセントに電源プラグをさし込む。

運 転

1. メインリモコンの運転スイッチを「入」にし、運転状態で、次の異常がなく、正常であることを確かめてください。
 - ・ファンモーターの回転異常音、電磁ポンプの異常音および振動音。
 - ・着火異常音（着火おくれなどによるもの）。
 - ・煙突からのすす発生。
 - ・振動燃焼などによる燃焼異常音。
 - ・炎検出器の異常などによる断続燃焼。
 （試運転時、煙突より臭いや白煙が出る場合がありますが、運転を続けると消えます。故障、異常ではありません。）
 2. 次にメインリモコン・ふろリモコンのツマミを「高」に合わせ次の異常がなく正常であることを確かめてください。
 - ・浴槽水が循環しない。浴槽水が沸上らない。
 - ・配管および本体から水漏れがないか確かめる。
- ご注意
- ・燃焼ランプが点滅する時は、「使用方法」「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を確認して、運転スイッチを「切」「入」にしてください。
 - ・電磁ポンプの調圧ネジなどの部品の調節や、改造は危険ですので、絶対におやめください。
 - ・浴槽の水面が循環口より下にある場合や循環フィルターへの給水を運転後に行った場合、浴槽水が循環しないことがあります。この場合しばらく待った後に（1～10分後）ふたたび循環を確認してください。